

交声曲
こうせいぎょく

信時潔作曲 北原白秋作詩

北海道東征

かいどうとうせい

ベートーヴェン

交響曲第5番「運命」

信時潔

交声曲「北海道東征」

【指揮】北原 幸男

【管弦楽】東京交響楽団

平成29年 (2017年) **12月19日(火)**
19:00開演 (18:30開場)

ミュージア川崎 シンフォニーホール

主催：一般財団法人 国立国際交流奨学財団 共催：産経新聞社



【指揮】
北原 幸男



【ソプラノ】
幸田 浩子



【ソプラノ】
盛田 麻央



【アルト】
田村 由貴絵



【テノール】
小原 啓楼



【バリトン】
原田 圭

【合唱】東響コーラス
(合唱指揮：安藤常光)

※やむを得ない事情により
出演者・曲目を変更する場
合があります。あらかじめ
ご了承ください。

KIMURA SOUGO / PIXTA (ヒクスタ)

- ▶ 入場料(全席指定、税込) ... **S席：8000円/A席：7000円** 【8月26日(土)AM10:00発売】 ※未就学児童入場不可
- ▶ チケット発売所 サンライズオンライン <http://sunrisetokyo.com> (パソコン)
チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:340-467)
ローソンチケット 0570-000-407、0570-084-003 (Lコード:32849)
イープラス <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯) ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200

【お問い合わせ先】 サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 (全日10:00~18:00)

交声曲

北海道東征

日本建国の神話を格調高く描いた世界に誇る名曲、交声曲「北海道東征」は、1940年(昭和15年)の「皇紀2600年奉祝行事」のために書かれました。当時山田耕筰らとともに日本の洋楽の礎を作った作曲家・信時潔(1887~1965)によるこの大作、歌詞は「日本書紀」や「古事記」の記述を元に詩人・北原白秋が手がけました。管弦楽、独唱、重唱、合唱が見事に組み合わさったこのカンタータ(交声曲)は、「国産み」から神武東征まで吟ずる8章からなります。戦後封印されてきたこの名曲は、信時潔没後50年の2015年秋、大阪公演、翌16年秋の再演を含め大好評となりました。さらに4月の東京フィルハーモニー交響楽団公演でも好評を得て、この公演に至りました。わが国では、ベートーヴェンの交響曲第9番が年末に公演されることがひとつの風物詩となつていますが、成熟した平成の御代に日本人による日本人のための信時潔の交声曲「北海道東征」を静かに楽しむことを日本文化の再評価の二環として、また年末恒例の文化事業として根づかせていきたいです。



信時 潔(のぶとき きよし) 写真提供: 信時 裕子

第1章 高千穂(たかちほ) 天地創造、日向・高千穂への称賛、カムヤマトイハレヒコノミコト(後の神武天皇)の東征決意

第2章 大和思慕(やまとしほ) 出帆前、大和への憧れ 古事記「大和は国のまほろば」からの引用

第3章 御船出(みふなで) 日の出、満ち潮、日向・美々津港からの出帆 東征の始まり

第4章 御船話(みふなうた) 旅の安寧を祈る「祝詞」の掛け声と船謡調の掛け合い

第5章 速吸と菟狭(はやすいとうさ) わらべ唄風の児童合唱が速吸(大分)と愛媛の間の佐賀関海峡での古の物語を、民は中世歌謡風の歌で菟狭(宇佐地方)に上陸した一行を歓迎する

第6章 海道回顧(かいどうかいこ) 宇佐の滞在ののち、筑紫の国、安芸の国、吉備の国を経て目指す、東への長き旅路

第7章 白肩の津上陸(しらかたのつじょうりく) 河内の国、白肩之津への上陸、豪族・長髓彦との戦闘

第8章 天業恢弘(てんぎょうかいこう) イハレヒコは大和の橿原で天皇に即位する。三種の神器への賛歌、日本の建国を讃える情景

ベートーヴェン 交響曲第5番「運命」

交響曲第5番「運命」は、ベートーヴェンの交響曲の中でも最も緻密に設計された作品であり、極限まで可能性が追求されたその形式美、構成力はベートーヴェンの創作活動の頂点のひとつとして、他の追随を許すものではありません。曲は4つの楽章からなり、激しい葛藤を描いた第1楽章から、瞑想的な第2楽章、第3楽章の不気味なスケルツォを経て、第4楽章で歓喜が解き放たれるような曲想上の構成をとっています。

指揮者 北原幸男 YUKIO KITAHARA



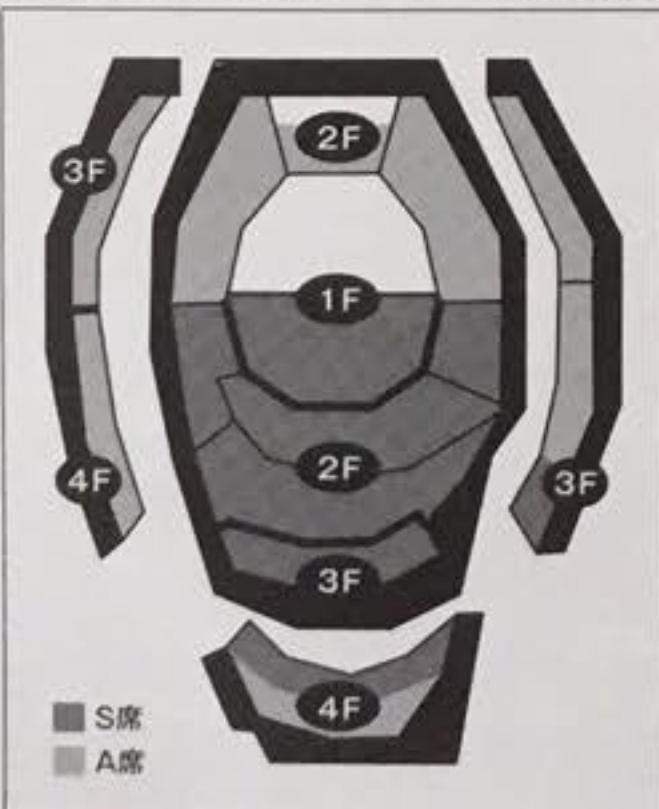
桐朋学園大学卒業後NHK交響楽団指揮研究員となる。タングルウッド音楽祭で小澤征爾、レナード・バーンスタイン両氏の指導を受ける。1985年プラハの春国際コンクール第3位入賞。1985年から1992年までインスブルック・チロル歌劇場専属指揮者。1992年アーヘン市立歌劇場の常任指揮者、1993年から1996年まで音楽総監督。2008年より、天皇后両陛下主宰の宮中晩餐会、午餐会、洋楽演奏会の指揮者を務める。2009年は御結婚50年御即位20年の記念洋楽演奏会を指揮。現在、宮内庁式部職楽部指揮者、武蔵野音楽大学教授、埼玉県富士見市文化芸術アドバイザー。

管弦楽 東京交響楽団 TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA



1946年創立。現代音楽の初演などにより、これまでに文部大臣賞、京都音楽賞大賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。定期演奏会の他、川崎市、新潟市、八王子市と提携し、コンサートやアウトリーチ活動を展開している。新国立劇場でも、毎年オペラ・バレエ公演を担当。昨年創立70周年を迎え、10月ウィーン楽友協会を含むヨーロッパ5カ国で公演を行い各地で高評を得た。

ミュージア川崎シンフォニーホール座席案内



チケット 8月26日(土)AM10:00発売

- ◆サンライズオンライン <http://sunrisetokyo.com/>(パソコン)
- ◆チケットぴあ <http://t.pia.jp/>(パソコン・携帯) 0570-02-9999(Pコード:340-467) セブン-イレブン、サークルK・サンクス、チケットぴあ店舗
- ◆ローソンチケット <http://l-tike.com/>(パソコン・携帯) 0570-000-407、0570-084-003(Lコード:32849) ローソン、ミニストップ(店内Loppi)
- ◆イープラス <http://eplus.jp/>(パソコン・携帯) ファミリーマート(店内Famiポート)
- ◆ミュージア川崎シンフォニーホール 044-520-0200(10:00~18:00)

お問い合わせ

- ◆サンライズプロモーション東京 0570-00-3337(全日10:00~18:00)

会場へのアクセス



〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 JR川崎駅より徒歩3分、京浜急行線京急川崎駅より8分